

TOTO

オートクリーンC (自動フラッシュバルブ・発電タイプ) (パブリックコンパクト便器CS494系専用)

TEV30M型・TEV40M型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
- ⚠ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

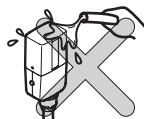


注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

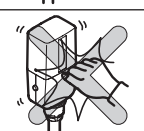
注意

機能部に水をかけない
故障の原因になります。



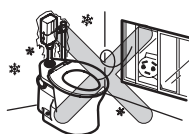
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される場所には設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない
洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。

オリフィス
など

禁止

注意



水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない
故障の原因になります。



分解禁止

分解したり、修理・改造は絶対に行わない
故障の原因になります。



必ず実行

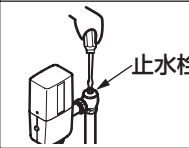
空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする
新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



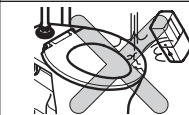
取付接続部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分に確認のうえ、取り付ける
故障や水漏れの原因になります。



ピストンの掃除をする際は、いきなりピストンを取り出さずに、止水栓または元栓を閉めてから行う
(取扱説明書を参照してください)



オートクリーンC本体は重いため取り扱いには十分に注意する
便器などに落とすと、便器が破損して水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、けがをするおそれがあります。



作業時は手袋など適切な防護具を使用する
予期せずけがをするおそれがあります。



2-1

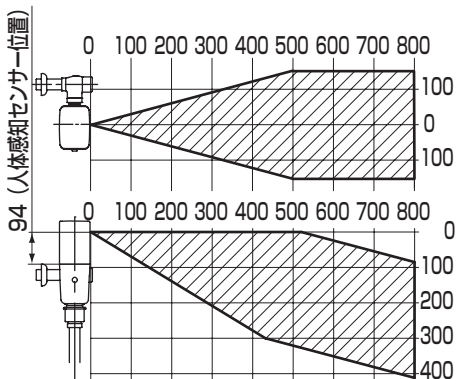
取り付け前に

1. 取付条件の確認

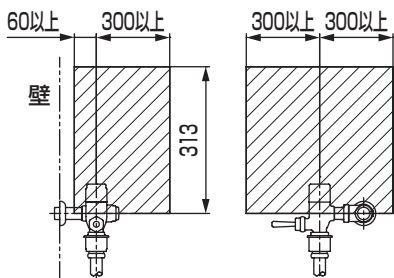
(単位：mm)

- 節水タイプのオートクリーンCです。TOTOの専用腰掛便器(CS494系)との組み合わせでご使用ください。他社製便器には取り付けできませんのでご注意ください。下記A～Dへの場合は取り付けできませんので事前にご確認ください。

A. 下記感知領域内に障害物がある場合

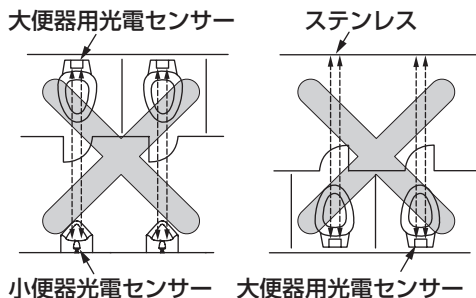


C. 既設フラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合 (斜線は必要空間寸法)



※カウンターが飛び出したりしている場合はご注意ください。

B. 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、光電センサー同士が対向する場合



D. 背もたれ・トイレアームレスト、簡易昇降便座 人体感知センサー取付位置の関係上、誤感知しますので、使用できません。

- C14系の床給水便器からの取り替えの場合は、専用洗浄管とフランジが必要です。TN129R(水道水以外を使用する場合はTN129DR)を別途手配してください。

2. センサーについて

- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動(感知)しない場合や誤作動する場合があります。
- 男性が立位で小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。
- 誤感知する場合がありますので、使用后、または清掃後は便座を下げてください。また、便ふたは取り外してください。
- 施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分にご確認ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

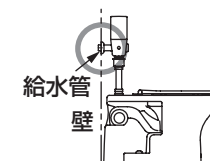
3. 洗浄水について

- TEV30M型は水道水のみ、TEV40M型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

4. その他

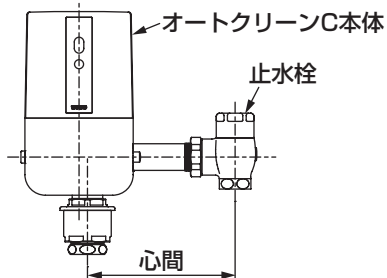
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 水道工事と電気工事は、十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- オートクリーンC本体の給水方向は、左右どちらにも対応できます。
- 右図以外 の設置形態の場合は、パイプホルダーなどで給水管や洗浄管を確実に固定してください。



2-2

●心間調整について

120mm以外は、下記品番の接続金具をご購入のうえ、施工の前にお取り替えください。
(取替要領はTHD59P型の施工説明書を参照してください)



TH品番	心間
THD59P110	120(+10~0)mm
THD59P120	130±10mm
THD59P140	150±10mm
THD59P160	170±10mm
THD59P170	180±10mm
THD59P180	190±10mm
THD59P200	210±10mm

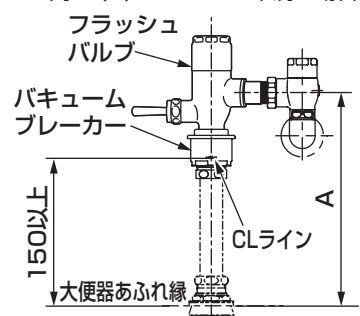
心間は標準寸法に対して±10mmの範囲で調節可能です。
ただし、CS494用オートクリーンC本体の心間120mm継手の下限は0mmです。

●バキュームブレーカーの取り付けについて

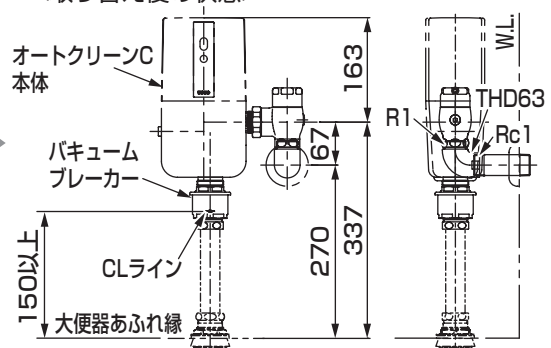
- ・バキュームブレーカーは、便器のあふれ縁からバキュームブレーカーのCLラインまで150mm以上になるように設置してください。
- ・給水高さを変更できない既存の壁給水配管をそのまま利用するリモデルなどの場合で、且つ既存便器からCS494系の発電タイプのオートクリーンC本体に置き換える場合は必ず別途、壁給水接続金具(THD63)をご発注ください。
(下図は発電タイプとTHD63のセット)

<取り替え前の状態>

高さ(A)が265mm未満の場合



<取り替え後の状態>



(単位：mm)

注意

取り替え前の便器あふれ縁からフラッシュバルブの給水の中心までの高さが265mm未満の場合には、発電タイプのオートクリーンC本体に取り替えるとCLラインまでの高さが150mm未満になることがあります。

3

施工時の注意事項

スイッチユニット(別売品)について

- 発電タイプは、組み合わせるスイッチユニットが無線タイプ(TES46M、47M型)となります。
- 有線タイプ(TES46U、47U型)のスイッチユニットとはセットできません。
- THE28(人体感知センサーユニット)はセットできません。

スイッチユニットをセットする際は、必ずスイッチの同期設定を行ってください。スイッチの同期を行わない場合、製品が正常に作動しませんのでご注意ください。

※同期の取りかたは、スイッチユニットの施工説明書をご確認ください。

4

仕様

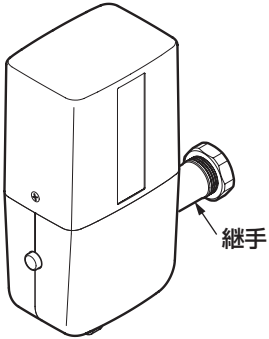
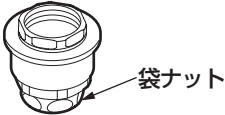
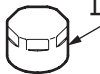
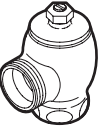

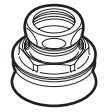
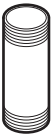
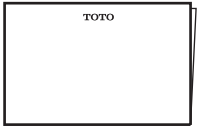

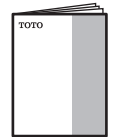

タイプ	パブリックコンパクト便器CS494系専用(発電タイプ)	
	露出タイプ	
便器標準洗浄水量	大：4.8L/小：3.6L	
給水圧力	最低必要水圧(流動時)	0.07MPa以上(102L/分)※ただしバルブ取り付け時は72L/分以上
	最高水圧(静止時)	0.75MPa
商品寸法(カバー外寸)	オートクリーンC本体部：132×92×249	
電源	発電機+バックアップ電池	
人体感知距離	自動調節：500~800mm(手動調節：500~900mm未満に調節可能)※白紙□300mmの場合	
人体感知時間	6秒間以上	
自動洗浄開始時間	人体感知が切れて10秒後または6秒後に設定可能 工場出荷時：10秒	
小洗浄判定時間	120秒または150秒に設定可能 工場出荷時：120秒	
自動洗浄	入/切 切替可能 工場出荷時：入	
大小洗浄	大/大小 切替可能 工場出荷時：大小	
設備保護洗浄	24時間洗浄がない場合は自動洗浄します 入/切 切替可能 工場出荷時：入	
給水接続部	25A(ねじサイズ：R1)	
使用温度範囲	1~40℃	
使用水	TEV30M型：水道水のみ	
	TEV40M型：水道水、井戸水、再生水、雑用水	

(注) 井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

5 部品の確認

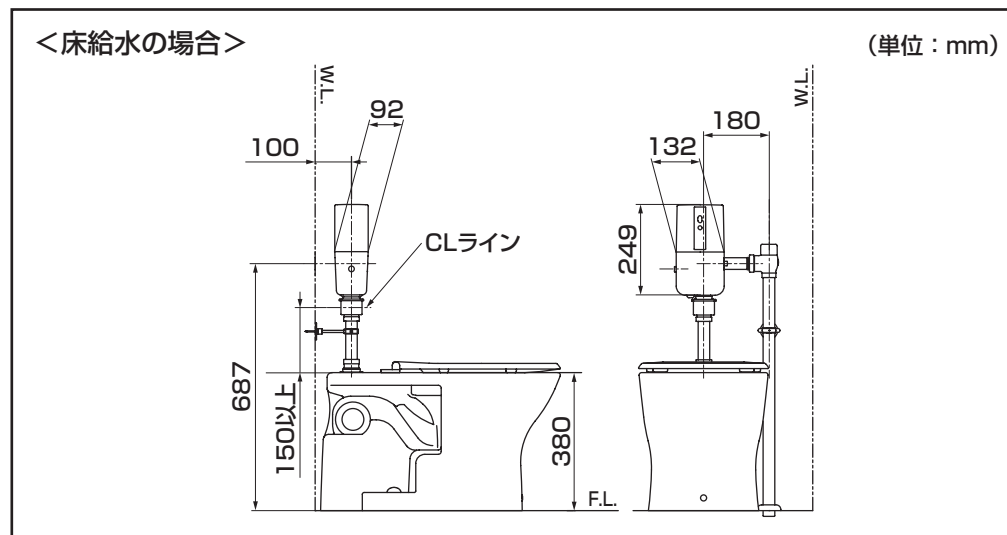
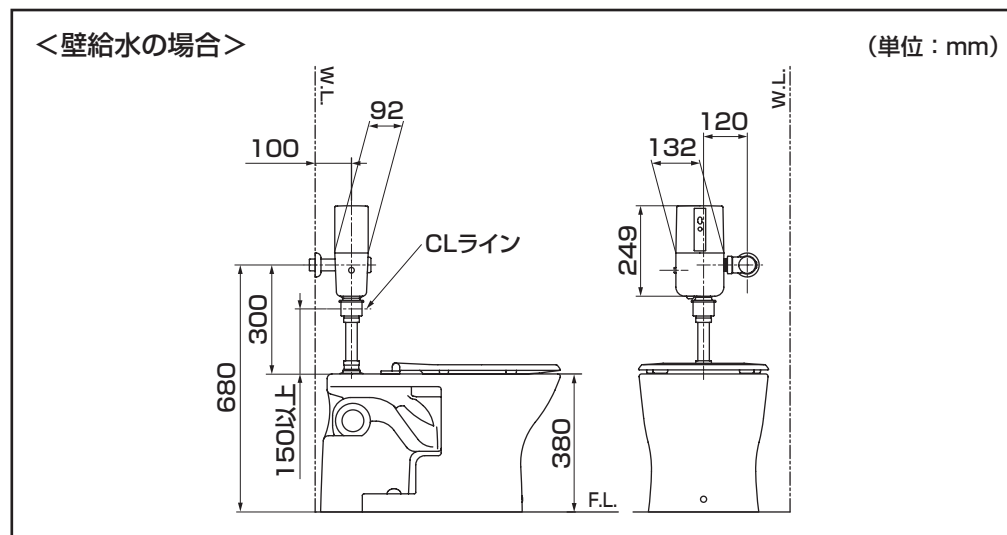
次の部品があることを確認してください。

オートクリーンC本体部	給水・洗浄管部
 <p>継手</p> <p>オートクリーンC本体</p>  <p>袋ナット</p> <p>パキュームブレーカー</p>	 <p>止水栓カバー</p>  <p>止水栓</p>  <p>洗浄管</p>  <p>スパッド</p>  <p>給水管</p>  <p>フランジ</p>
その他	
 <p>TOTO</p> <p>施工説明書</p>  <p>使いかたラベル</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">必ずお客様にお渡しください</p>  <p>TOTO</p> <p>取扱説明書</p>  <p>掃除用磁石</p> </div>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6 完成図

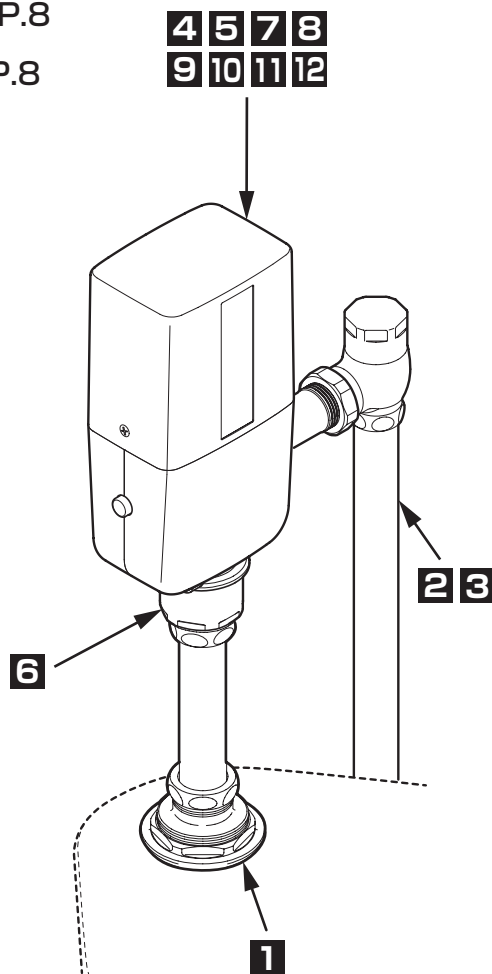
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



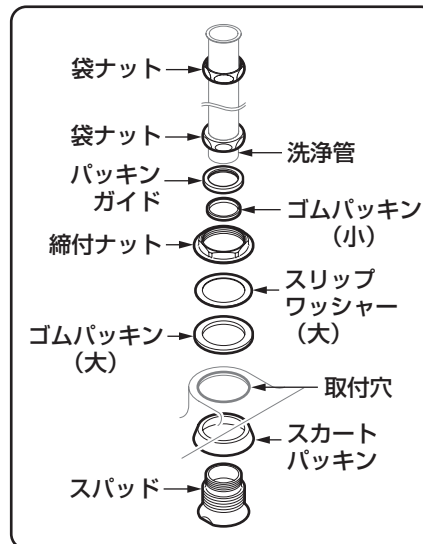
※パキュームブレーカー側面の「CL」ラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。
「CL」(Critical Installation Level)とは、パキュームブレーカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。

7-1 施工手順

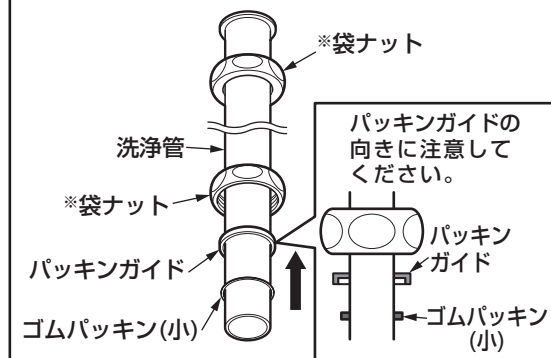
- 1 スパッドと洗浄管の取り付け…P.5～6
- 2 給水管内の清掃…P.6
- 3 給水管の取り付け…P.6
- 4 給水方向を変更する場合…P.6～7
- 5 洗浄水量の調節…P.7
- 6 バキュームブレーカーの取り付け…P.8
- 7 オートクリーンC本体の取り付け…P.8
- 8 コネクターの接続…P.9
- 9 スイッチの同期…P.9
- 10 水勢の確認…P.9
- 11 試運転…P.10
- 12 上カバーの取り付け…P.10



1 スパッドと洗浄管の取り付け



※袋ナットの方向に注意



注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

① 洗浄管に※袋ナット(2個)、パッキンガイド、ギョムパッキン(小)を挿入する。

② あらかじめ指にスカートパッキンを通し、スパッドを落とさないように取付穴に差し込む。

右図のように切り落し部以外から取付穴に入れ、切り落し部を通過させるように差し込んでください。
※始めに切り落し部から差し込むと、取付穴と干渉し、通過しない場合があります。

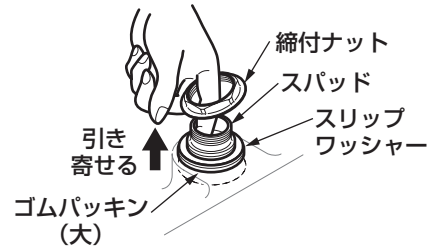


③ スパッドと陶器の間にスカートパッキンを押し込み、スパッドに組み込む。



1 スパッドと洗浄管の取り付け (つづき)

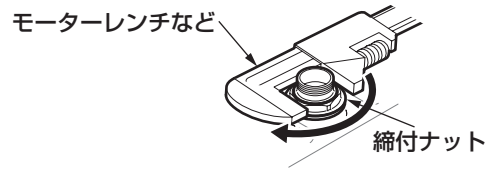
- ④ ゴムパッキン(大)・スリップワッシャーの順にスパッドに組み込む。



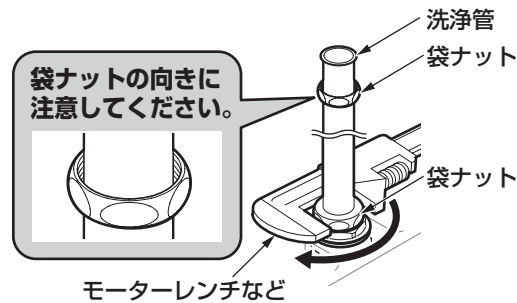
- ⑤ あらかじめ指に縮付ナットを通し、スパッドを取付穴の中心で引き寄せ、縮付ナットを手で締め込む。



- ⑥ モーターレンチなどの工具を使用して縮付ナットを確実に締め込む。



- ⑦ スパッドに①でセットした洗浄管を差し込んで、袋ナットを締める。



2 給水管内の清掃

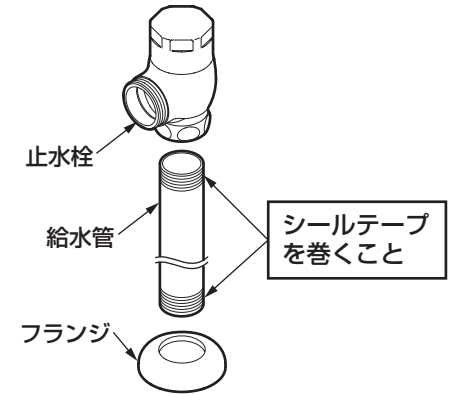
取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

3 給水管の取り付け

- ① 給水管を所定の位置に接続する。

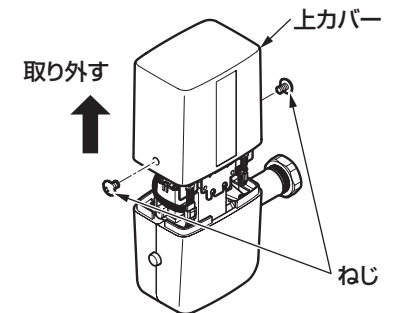
- ② 給水管に止水栓を取り付ける。



4 給水方向を変更する場合

※工場出荷時は右給水です。

- ① 上カバーを固定しているねじ(2カ所)を外し、上カバーを取り外す。



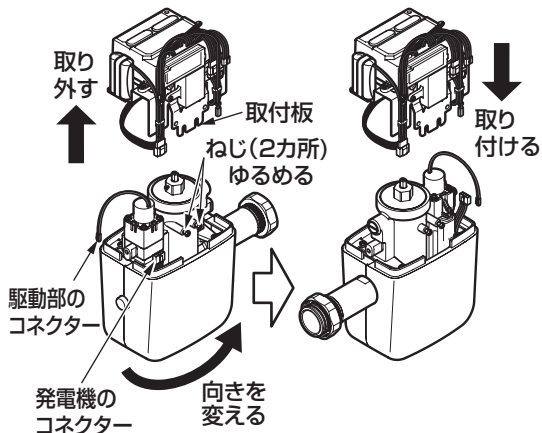
4 給水方向を変更する場合 (つづき)

②給水方向を変える場合は、ねじ(2カ所)をゆるめ、取付板部の前後の取付位置を変更し、オートクリーンC本体の向きを変えてください。

※この作業はオートクリーンC本体を洗浄管に差し込む前に行ってください。

注意

駆動部および発電機のコンネクターが破損しないように注意してください。



5 洗浄水量の調節

本製品は通常、洗浄水量の調節が不要です。

ただし、下記の場合は自治体条例対応モードに設定し、洗浄水量を変更してください。

- 自治体条例により、洗浄水量を変更する必要がある場合
- 腰掛便器の側面にセットする場合
- 標準 (工場出荷時) 設定で汚物が流れない場合

【設定方法】

洗浄水量調節スイッチを設定する。



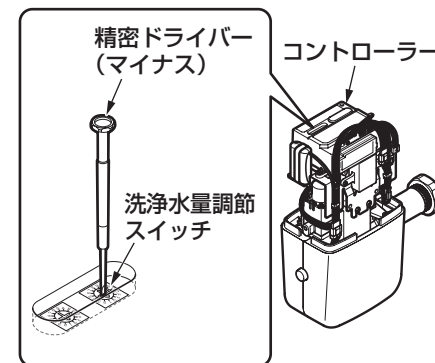
	CS494系：腰掛便器		
	標準	自治体条例対応モード	
洗浄水量調節スイッチ			
大洗浄	4.8L	6L	8L
小洗浄	3.6L	5L	6L

注意

- 配管条件により水たまり面が低くなる場合は、必ず「水たまり面の設定方法 (P.11)」を参照しながら水たまり面の設定をしてください。
- 和洋リモデル工法の場合は、必ず「水たまり面の設定方法 (P.11)」を参照しながら水たまり面の設定をしてください。この設定の場合、洗浄水量は大洗浄6L、小洗浄4.8Lになります。

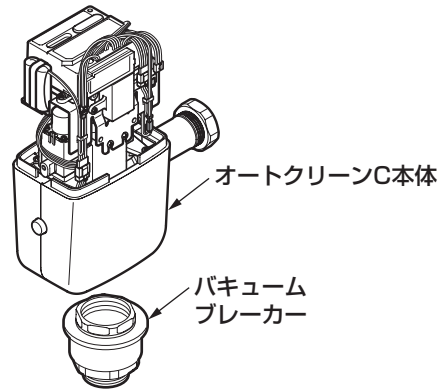
【洗浄水量の設定方法】

- ①コントローラーの左側のゴムキャップを外す。
- ②適正水量に調節する。
精密ドライバー(マイナス)などで適正水量に調節してください。適正水量については左記の表を参照してください。



6 バキュームブレーカーの取り付け

オートクリーンC本体にバキュームブレーカーを取り付ける。

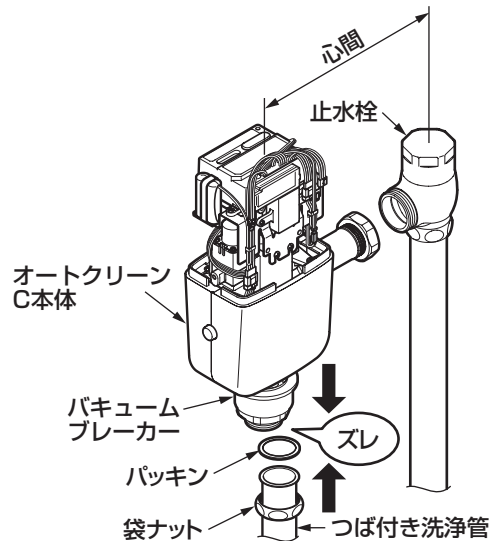


7 オートクリーンC本体の取り付け

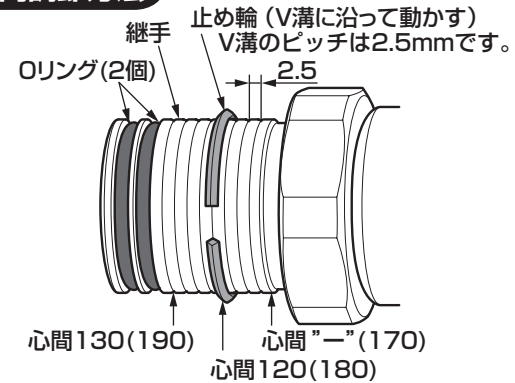
- ① オートクリーンC本体の継手部を止水栓に差し込む。
- ② バキュームブレーカーにつば付き洗浄管の袋ナットを仮接続する。
- ③ オートクリーンC本体と止水栓の心間にズレがある場合は、心間調節方法を参照して、調節する。

注意

- つば付き洗浄管の袋ナット部には必ずパッキンが入っていることを確認してください。
- つば付き洗浄管が長い場合は切断し、調節してください。

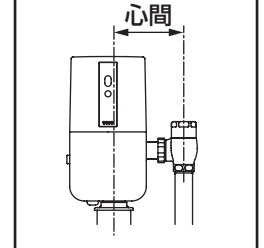


心間調節方法



(単位: mm)

心間180の場合

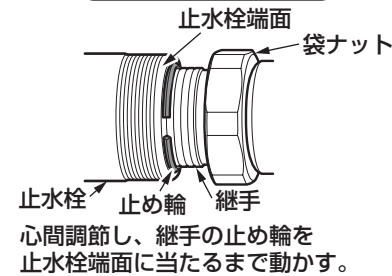


※オートクリーンC本体はカバー付きのため、120mm以下は対応不可です。

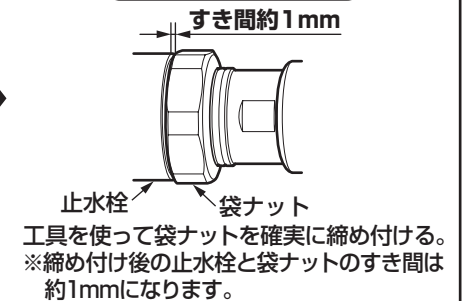
()寸法は心間180の場合

継手差し込みのポイント

袋ナット締め付け前



袋ナット締め付け後



注意

オートクリーンC本体は縦向きに取り付けてください。斜めや横向きに取り付けると不具合の原因になります。

- ④ 心間調節完了後は工具を使ってすべての接続部を確実に締め付ける。

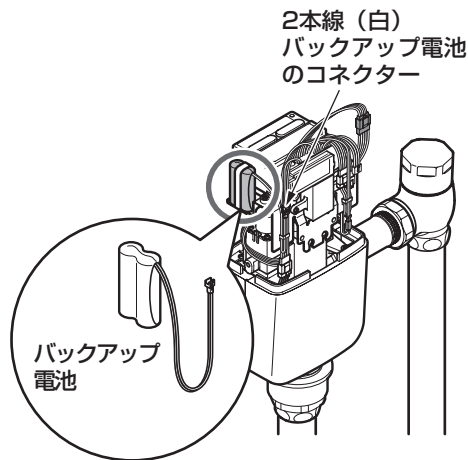
8 コネクターの接続

バックアップ電池のコネクタを接続する。

※コネクタ接続後、センサーが感知可能になるまでに約2分かかります。

注意

コネクタ接続後10分間は、感知するたびに人体感知センサー窓ガラス内の感知表示ランプが点滅しますが、その後は、感知しても点滅しません。

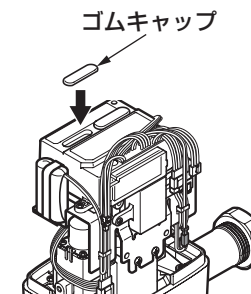


9 スイッチの同期

①スイッチ(別売品:TES46M/ TES47M)との同期設定を行う。

※同期の取りかたは、スイッチの施工説明書をご確認ください。

②スイッチの同期が完了したら、コントローラーのゴムキャップを取り付ける。



10 水勢の確認

※この作業を行う際はバックアップ電池のコネクタ接続後、2分以上経ってから行ってください。それ以前に通水すると、止水しない場合があります。

※このオートクリーンC (TEV型) は注意喚起ラベルでの水勢の確認は不要です。注意喚起ラベルをはがしてください。

①手動洗浄ボタンを押した状態で、水勢を確認しながら止水栓を開ける。

注意

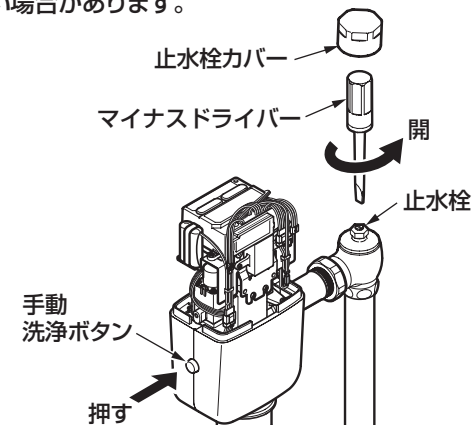
流動時の水圧が0.5MPaを超える場合は、便器から水があふれたり、節水できないことがありますので、便器に同梱の説明書に記載されている内容を確認のうえ、止水栓を調節してください。

②水漏れがないか確認する。(P.14参照)

③止水栓カバーを取り付ける。

注意

工具を使用する場合は、めっきを傷つけないように必ず布片を挟んでください。



11 試運転

- 本商品はバックアップ電池のコネクターを接続後、作動するまで2分間必要です。
- 試運転は、必ず上カバーをかぶせて行ってください。(カバーのねじ固定は不要です)

自動洗浄

- ①人体感知センサーを感知させると、感知表示ランプが点滅します。
- ②6秒以上点滅させたあと、感知を外すと、感知表示ランプが消灯します。
- ③感知表示ランプが消灯したあと、約10秒後に洗浄水が自動で流れる ことをご確認ください。

ただし人体感知センサーの感知表示ランプの点滅はバックアップ電池のコネクター接続後、約10分間ですのでご注意ください。感知表示ランプを再度点滅させるには、バックアップ電池についている白色のコネクターを抜いて、人体感知センサーの4秒周期の点滅が始まったら再度、コネクターを入れてください。

また、洗浄開始から約5秒間、人体感知センサーの感知表示ランプが点灯することをご確認ください。ただし、押ボタンでの洗浄時は感知表示ランプは点灯しません。万一、洗浄時に人体感知センサーの感知表示ランプが点灯しない場合は、何らかの原因で発電機が故障していますので、TOTOメンテナンス(株)(TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02)へ修理をご依頼ください。



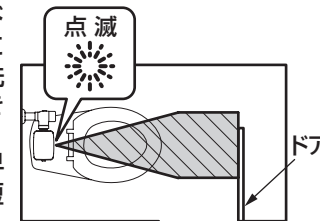
感知表示ランプが
消灯しない場合

立ち去っても
感知表示ランプが
消灯しない場合

感知距離を自動調整します。3分以上、障害物を感知すると自動的に距離を調節しますのでお待ちください。それでもトイレブスの壁や便器を感知する場合は、感知距離の再設定が必要となります。

設定方法は「9. 切替スイッチの調節」を参照してください。ドアを開けたままで人体感知センサーの感知表示ランプが点滅する場合にも、感知距離の再設定を行ってください。

※人体感知センサーが壁やドアを感知していると正確に人体を感知できず、大小洗浄の判定や自動洗浄ができなくなります。またバックアップ電池の早期切れにもなり、寿命が短くなります。



スイッチユニットとオートクリーンC本体の同期がとれていることをご確認ください。同期のとりがたはスイッチユニットの施工説明書またはオートクリーンC本体に同梱されている取扱説明書をご確認ください。

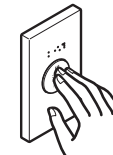
センサースイッチでの洗浄

※人体感知センサー(オートクリーンC本体)の感知が2秒以上必要です。別売品のセンサースイッチ使用時、手かざしセンサーから5cm以内に約2秒手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



タッチスイッチでの洗浄

※人体感知センサー(オートクリーンC本体)の感知が2秒以上必要です。別売品のタッチスイッチ使用時、ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。

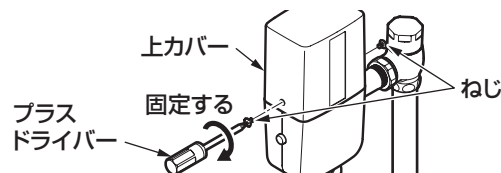


水たまり面が正常な状態であることをご確認ください。詳しくは「8. 水たまり面の設定方法」を参照してください。

使用者に操作方法がわかるように、ラベルを見やすい壁面に貼り付けてください。

12 上カバーの取り付け

コードをかみ込まないように、十分注意しながら上カバーをセットし、ねじで固定する。



水たまり面の設定方法

配管条件により、水たまり面が低くなる場合は、以下の設定をしてください。
便器洗浄してから約5秒後に便器水たまり面に追い水が流れます。

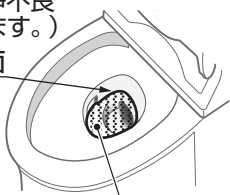
注意

- 和洋リモデル工法の場合、大洗浄6L、小洗浄4.8Lとなります。
- 流動時の水圧が0.07MPaのときに102L/分以上となる配管設計の場合

正常な状態

設定変更は不要です。
(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)

正常な水たまり面



この面まで水がたまっている

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

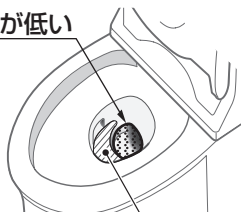
※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。

水たまり面が低い



この面(斜線部分)まで水がたまっていない

設定方法

7ページの「洗浄水量の調節」でおこなった水量の設定を右表で確認し、当てはまる設定について次表の手順で設定をしてください。

	CS494系：腰掛便器		
	標準	自治体条例対応モード	
洗浄水量調節スイッチ			
大洗浄	4.8L	6L	8L
小洗浄	3.6L	5L	6L

設定1へ

設定2(12ページ)へ

設定1

手順1

水たまり面設定変更なし

工場出荷時

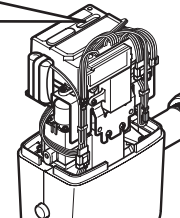
ON 1 2 3 4 5 6 7 8 2C

切り替え ↓ スイッチ5・6

水たまり面設定変更あり

ON 1 2 3 4 5 6 7 8 2C

切り替えスイッチ「5」と「6」をONに切り替える。



手順2



便器洗浄すると約5秒後に水たまり面に追い水が流れます。

手順3

正常な状態

正常な水たまり面

この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

水たまり面が低い

この面(斜線部分)まで水がたまっていない

設定完了

追い水が流れない・追い水量が少ない

手順4

追い水量の設定をします。

右図のように洗浄水量調節スイッチを「0」から「1」→「2」→「3」→…「D」→「E」→「F」まで必ず時計回りに1つずつ順に回し、便器水たまり面が正常な状態になるまで手順2→手順3→手順4を繰り返してください。

※この設定を行うと、矢印の方向(時計回り)に回すほど追い水量が増えます。



精密ドライバー(マイナス)

洗浄水量調節スイッチ

コントローラ前面図

右側のスイッチを使用します

注意

- 洗浄水量調節スイッチは必ず水たまり面が正常な状態になったところで設定を完了してください。
- 洗浄水量調節スイッチを過剰に回すと、規定の水量よりも多く流れる場合があります。

水たまり面の設定方法(つづき)

設定2

手順1

水たまり面設定変更なし

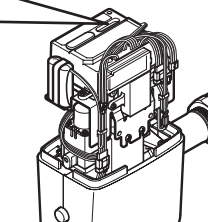


切り替え ↓ スイッチ6

水たまり面設定変更あり



切り替えスイッチ「6」をONに切り替える。



手順2



便器洗浄すると約5秒後に水たまり面に追い水が流れます。

手順3

正常な状態

正常な水たまり面

この面まで水がたまっている

設定完了

切替スイッチの調節

以下の設定を行うには上カバーを取り外していただく必要があります。
上カバーの取外要領は、「7-4 給水方向を変更する場合」を参照してください。

スイッチの設定を変更したあとは、必ず上カバーをかぶせて確認作業を行ってください。

感知距離の設定(人体感知センサー)

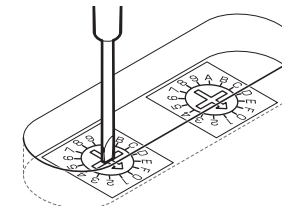
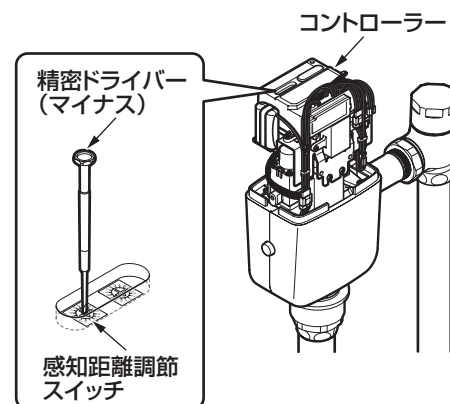
コントローラ左側の感知距離調節スイッチのゴムキャップを外し調節してください。

①人体感知センサーの感知表示ランプが点滅したままの場合

…感知距離調節スイッチを「0」から「5」へ回す。

②スイッチ切り替え後も人体感知センサーの感知表示ランプが点滅したままの場合

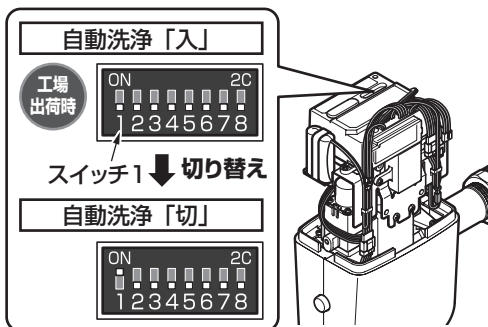
…感知距離調節スイッチを1つずつ下げて調節してください。



スイッチ	0	1	2	3	4	5
感知距離(単位: mm)	自動調節	500	600	700	800	900

※出荷時は「スイッチ0:自動調節」に設定してあります。

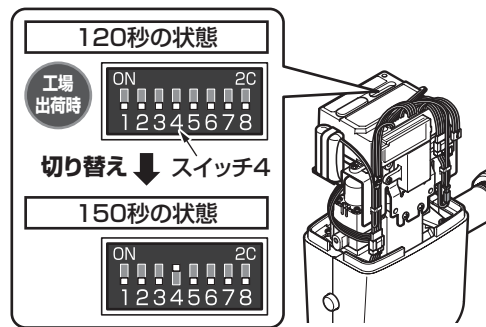
自動洗浄切替方法



スイッチ1を切り替える。

流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するよう工場出荷時に設定しています。自動洗浄をオフにする場合は、スイッチ1を「切」に設定してください。

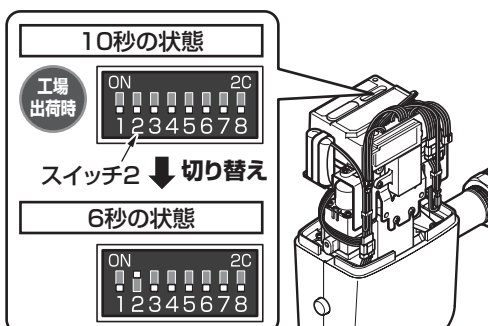
小洗浄判定時間切替方法



スイッチ4を切り替える。

人体感知センサーの感知時間により大/小便を判定して適正水量を流します。工場出荷時は、120秒に設定していますが、スイッチ4を切り替えることで、150秒に設定することもできます。

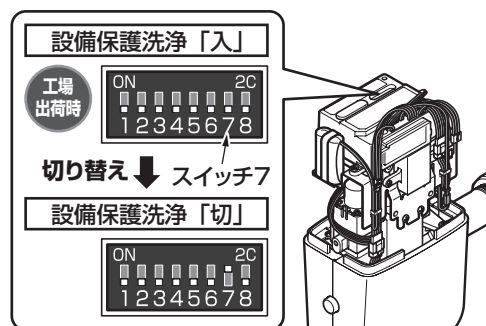
自動洗浄開始時間の切替方法



スイッチ2を切り替える。

工場出荷時は10秒に設定していますが、自動洗浄までの待ち時間が長く感じる場合は、6秒に切り替えてください。

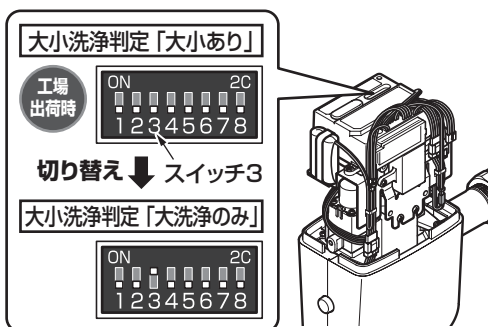
設備保護洗浄の切替方法



スイッチ7を切り替える。

24時間洗浄がない場合は配管を保護するため、自動的に洗浄します。設備保護洗浄をオフにする場合は、スイッチ7を切り替えてください。

大小洗浄切替方法

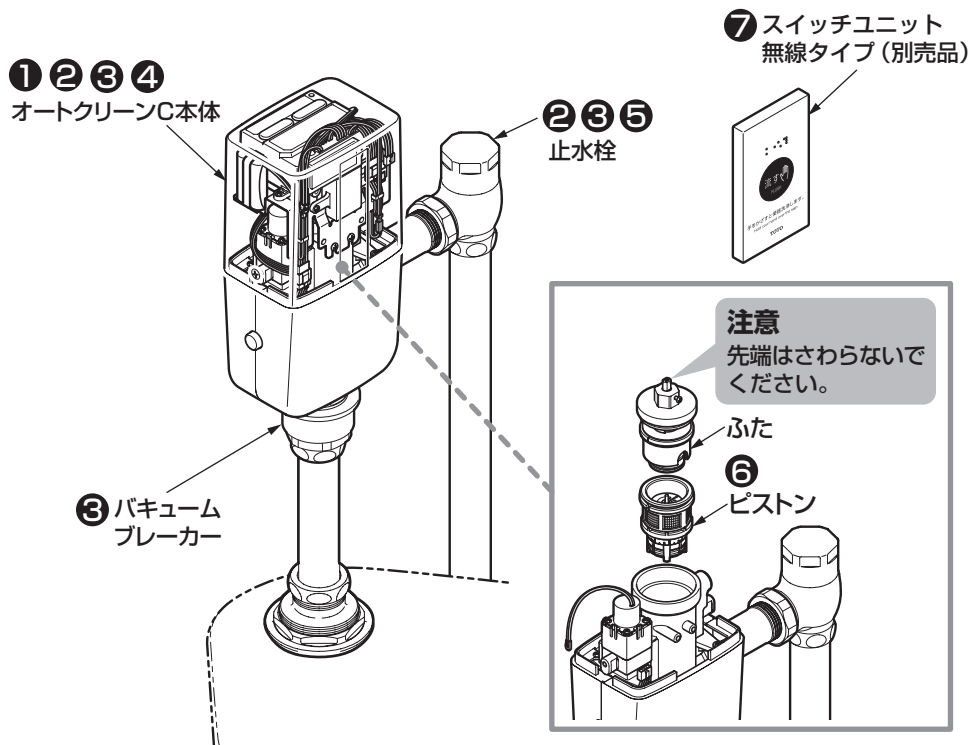


スイッチ3を切り替える。

スイッチ3を切り替えることで大洗浄のみの場合と、大小洗浄の判定を行う場合とを選択できます。工場出荷時は大小洗浄の判定を行うように設定しています。

10 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



配線の確認

コネクターが接続されているか確認してください。

- ① コネクターは確実に接続していますか？

➡ 7-5 - 8 「コネクターの接続」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- ② オートクリーンC本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

➡ 7-4 - 7 「オートクリーンC本体の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

- ③ 接続部はしっかり締め付けていますか？

➡ 7-4 - 6 「バキュームブレーカーの取り付け」参照
 ➡ 7-4 - 7 「オートクリーンC本体の取り付け」参照

洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

- ④ 洗浄水量は正しく設定されていますか？

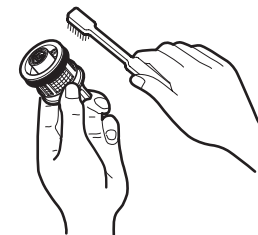
➡ 7-3 - 5 「洗浄水量の調節」参照

- ⑤ 止水栓は開いていますか？

➡ 7-5 - 10 「水勢の確認」参照

- ⑥ ピストンのごみ詰まりはないですか？

➡ ピストンの掃除をする。
 掃除方法は取扱説明書を参照してください。



同期の確認

スイッチユニット（別売品）とセットするときは、正しく同期設定されているか確認してください。

- ⑦ スwitchユニットは正しく同期設定されていますか？

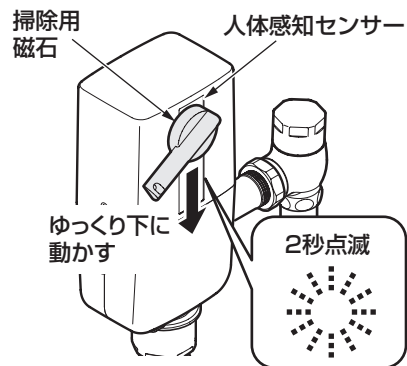
➡ 7-5 - 9 「スイッチの同期」参照

11 発電機の確認

取り付けが完了したあと、発電機の作動チェックを行ってください。

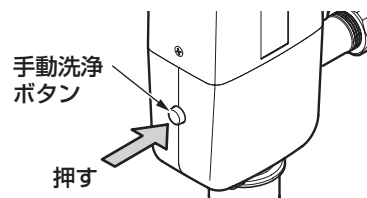
1. 人体感知センサーのガラス上部からゆっくり掃除用磁石を下に動かし、窓部のランプが2秒間点滅するまで掃除用磁石を当てる。

洗浄停止モードに入ります。



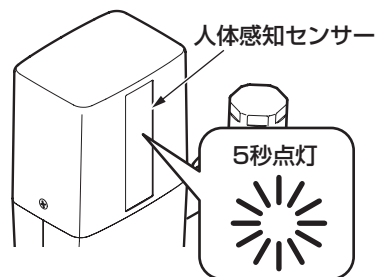
2. 手動洗浄ボタンで水を流す。

バルブ本体の手動洗浄ボタンで水を流します。



3. 人体感知センサーのランプが5秒間点灯することを確認する。

羽根車が正常に作動していれば、人体感知センサーのランプが5秒間点灯します。



人体感知センサーのランプが点灯しなければ羽根車が停止しています。

TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。